

3-23 菌体りん酸肥料を原料として活用した肥料の製造
(公益社団法人石巻市水産加工排水処理公社、朝日アグリア株式会社)

○ 公益社団法人石巻市水産加工排水処理公社（以下、石巻公社）で発生・生産される、水産資源由来の菌体りん酸肥料を原料として活用し、朝日アグリア株式会社（以下、朝日アグリア）が指定混合肥料等を製造。

国内資源の種類 肥料の種類・肥料名称 取組の経緯・内容・成果（見込み）

水産加工団地から発生する汚泥資源由来の菌体りん酸肥料

種類：土壌改良資材入り指定混合肥料
名称：新レオグリーン特号（濃縮ペレット堆肥）

作物 主成分の含有量(%)、特徴等

水稲、園芸、果樹等全般	<table><tr><td>N</td><td>P</td><td>K</td></tr><tr><td>3.1</td><td>3.2</td><td>1.3</td></tr></table>	N	P	K	3.1	3.2	1.3	堆肥、有機質肥料、菌体りん酸肥料、土壌改良資材を配合してペレット化した濃縮堆肥型肥料。 少ない施用量でらくらく土づくり。
N	P	K						
3.1	3.2	1.3						

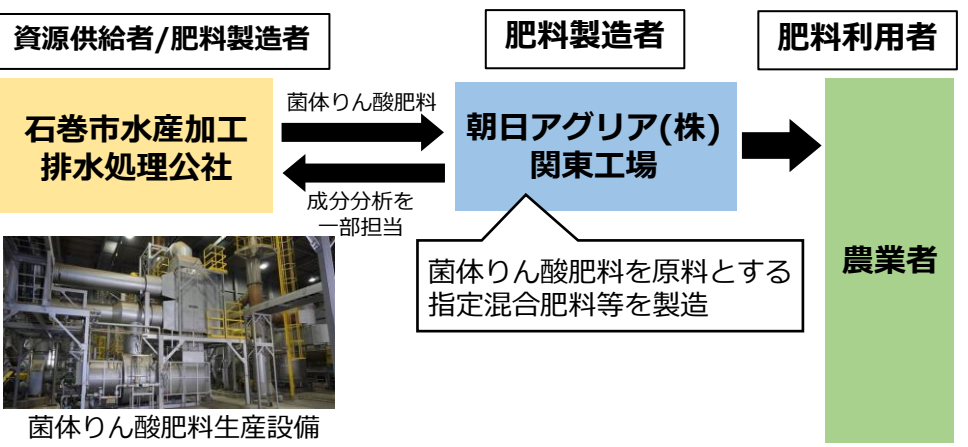
取組の経緯

- 石巻公社と朝日アグリアは、石巻公社の設立初期よりパートナーとして未利用資源の活用に向けた取り組みを推進。しかし、2011年の東日本大震災によって石巻公社の工場設備が壊滅的な影響を受け、朝日アグリアへの原料供給は中断。
- 石巻公社が設備等の再建を進める一方で、朝日アグリアは類似原料を活用した肥料銘柄の製造を維持し、協力関係を継続。

取組の内容

- 2023年10月、肥料法に基づく新たに公定規格「菌体りん酸肥料」が制定。同年11月、石巻公社が全国に先駆けて「菌体りん酸肥料1号・2号」として肥料登録を取得。さらに、2024年6月には、保証成分の異なる「菌体りん酸肥料3号」を登録。
- 石巻公社は朝日アグリアに肥料原料として提供。
- 朝日アグリアは本菌体りん酸肥料を活用した指定混合肥料等を製造・販売。

主たる取組主体と肥料利用までの流れ



成果

資源提供者/肥料製造者：石巻公社

- 肥料製造者へ肥料原料として提供することが可能であるため、販路が拡大。
- 年4回以上の実施が義務付けられる成分分析等を朝日アグリアに一部委託することで負担軽減。

肥料製造者：朝日アグリア

- 石巻公社の菌体りん酸肥料を指定混合肥料の原料に利用可能。

肥料利用者：農業者

- 肥料価格の引き下げによる施肥コスト低減。

今後の課題・取組

- 菌体りん酸肥料の安全性を含めた流通、肥料利用者の理解醸成。
- 大臣認証された品質管理計画の確実な履行と、適時適切な情報開示等（特に安全性に関して）。